別添（06EG057）

1．対象の防火設備

ドアクローザー（ハイブリッドドアコン　NK シリーズ（NK2 型））

2．対象の防火設備の仕様

2-1.対象の防火設備の仕様及び形状等

対象の防火設備の仕様及び形状等を表１に示す。

表１　仕様及び形状等

項目	仕様
閉じ力	20.3N{2.1kgf}以下 扉重量(kg)×係数(0.0069)
レール勾配	10.5/1000
閉鎖保持力	30kg
作動速度	0.09～0.14m/秒
最大作動速度	0.2m/秒
適用する扉条件	180kg 以上 300kg 以下、随時閉鎖片引き戸 （扉面積 3㎡を超える扉は潜り戸付） （対象の扉の適用範囲表を表２に示す。）

2-2.当該資材に関する連絡先：

株式会社豊和　ドアシステム事業部　TEL0120-198-551

2-3.当該防火設備の設置、形状等

当該防火設備の設置状況を図１に示す。

対象の防火設備の写真を写真１～４に示す。

対象の防火設備の図面を図２～３に示す。

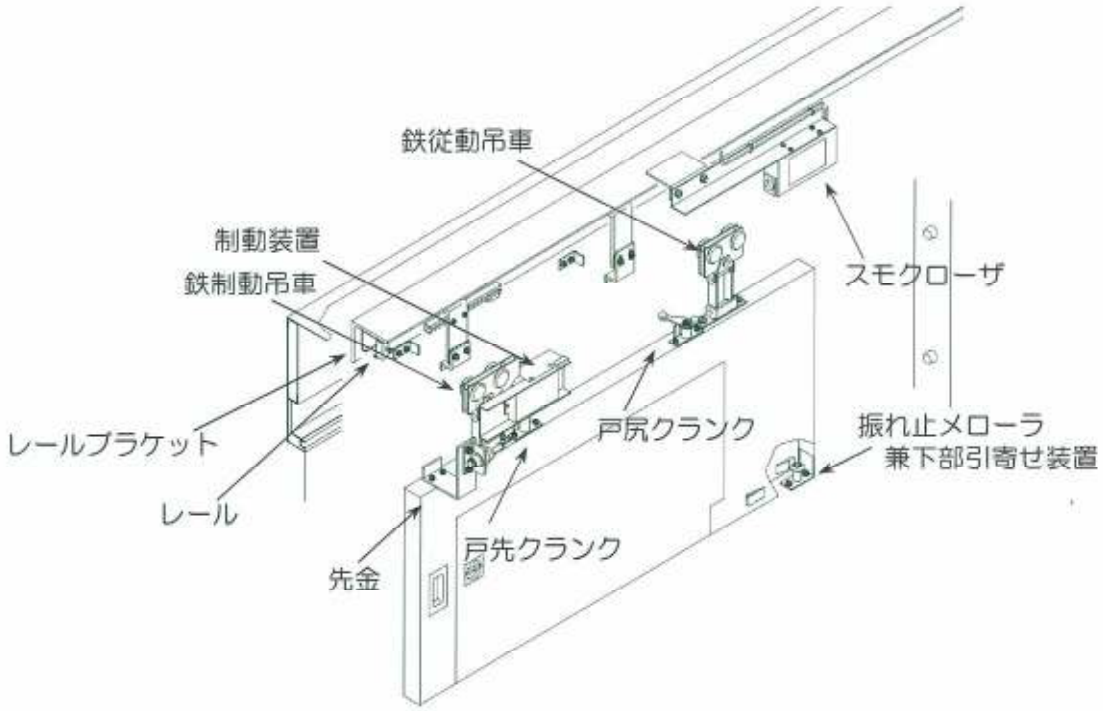


図１　ドアクローザー設置状況（片引き戸　常閉）

写真１　製品姿写真（制動装置 DKS04-R）

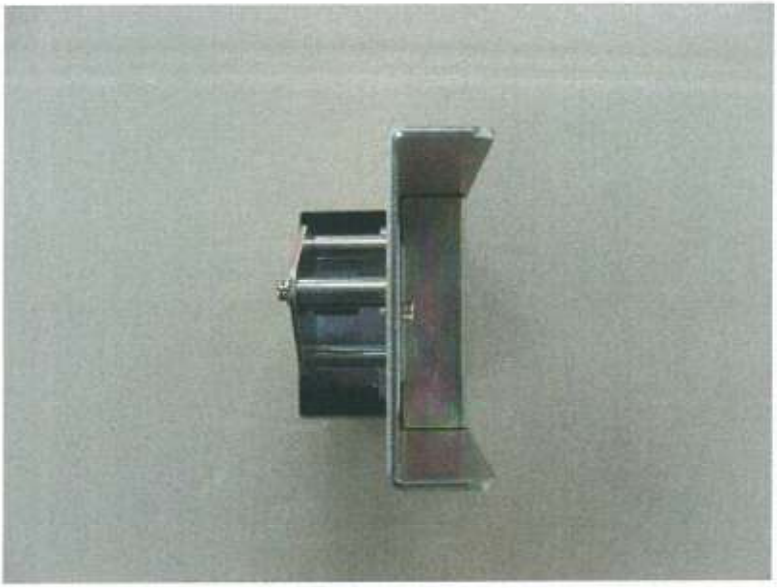


写真２　製品写真（側面）

写真３　製品写真（正面）

※検査合格証の最下段に
「BK」の記述があること。

正面が点検口から見た場合に正面になるよう設置されていること。

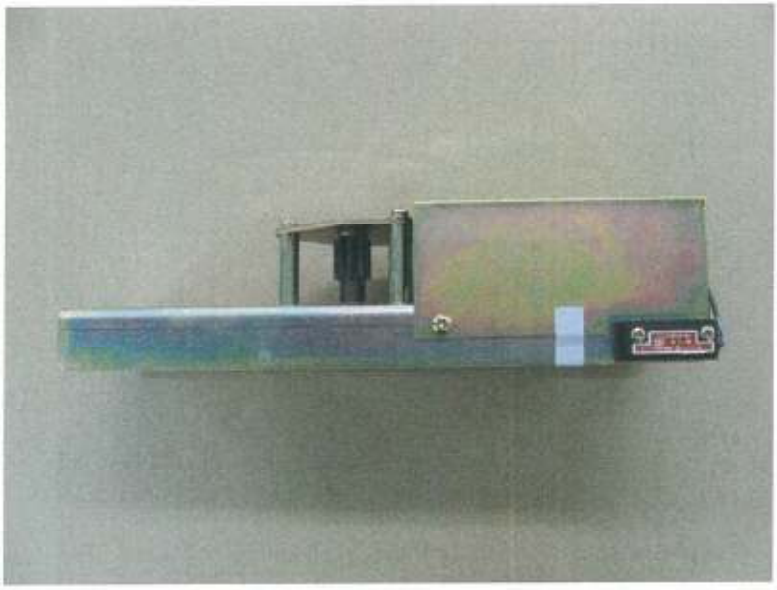
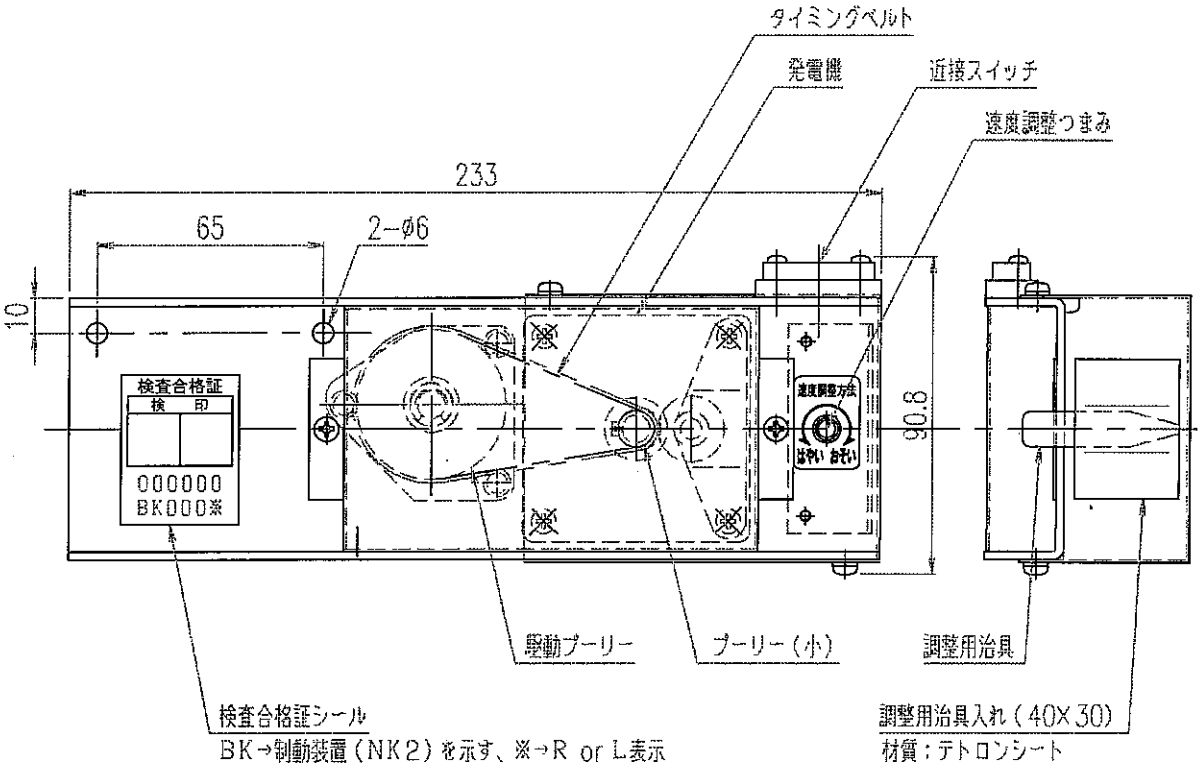


写真４　製品写真（上面）


タイミングベルト
発電機
近接スイッチ
遠度調整つまみ
233
65
2-φ6
10
検査合格証
検　印
000000
BK000※
90.8
速度調整方法
はやい おそい
駆動プーリー
プーリー（小）
調整用治具
検査合格証シール
BK→制動装置（NK2）を示す、※→R or L表示
調整用治具入れ（40×30）
材質：テトロンシート
正面図
側面図

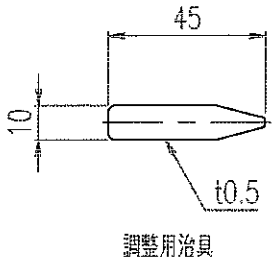

45
10
t0.5
調整用治具

図２　製品図

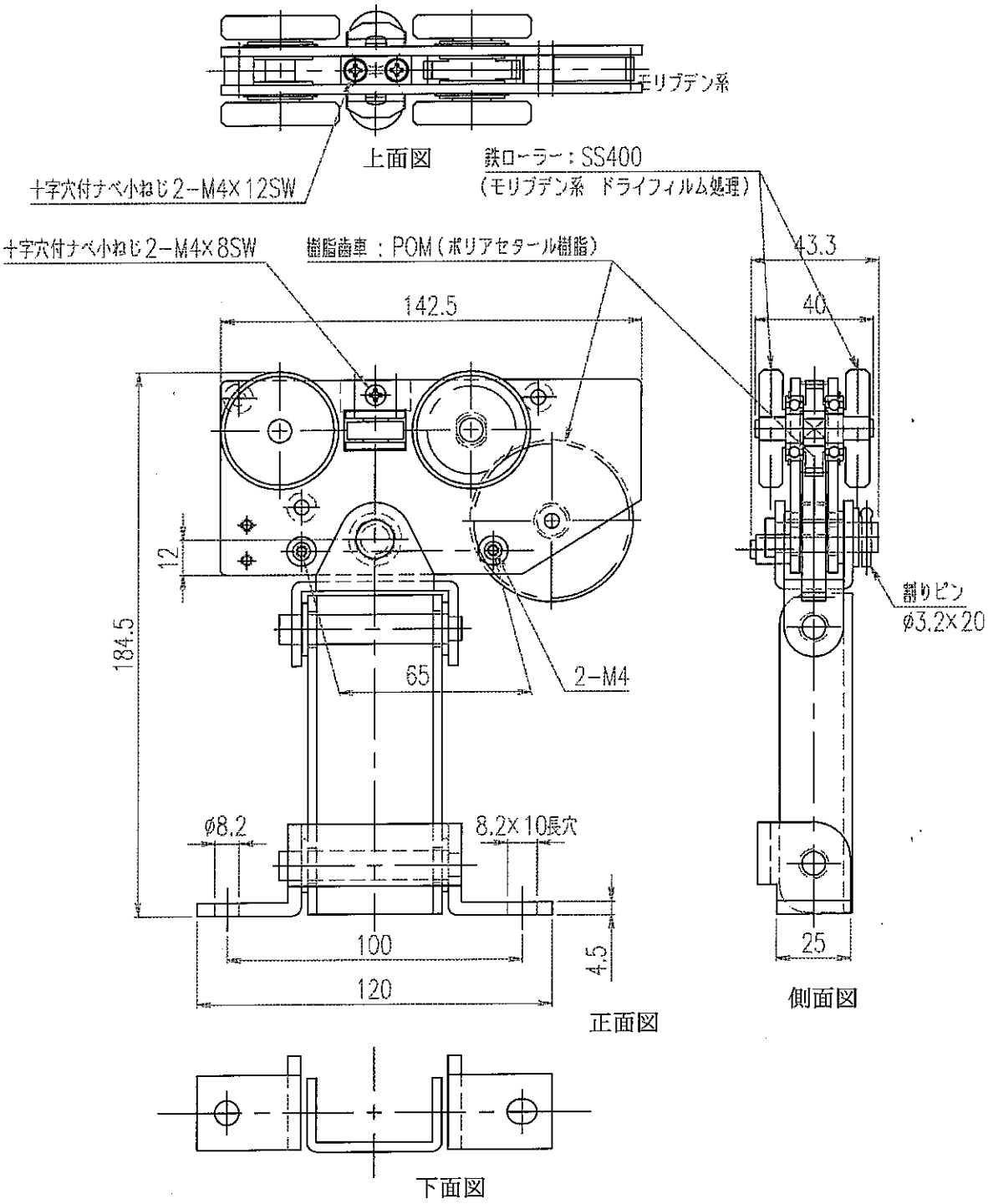

モリブデン系
上面図
十字穴付ナベ小ねじ2-M4×12SW
鉄ローラー：SS400
（モリブデン系　ドライフィルム処理）
十字穴付ナベ小ねじ2-M4×8SW
樹脂歯車：POM（ポリアセタール樹脂）
142.5
43.3
40
12
184.5
65
2-M4
割りピン
φ3.2×20
φ8.2
8.2×10長穴
100
120
4.5
25
正面図
側面図
下面図

図３　製品図（制動吊車）

NKシリーズ　NK2型適用サイズ及び扉重量（白抜き部分に適用。扉180kg以上300kg以下）

扉高(mm)	扉幅(mm) 900	1000	1100	1200	1300	1400	1500	1600	1700	1800	1900	2000	2100	2200	2300	2400	2500	2600	2700	2800	2900
3500	120	133	146	160	159	186	200	213	226	239	257	266	279	293	306	319	333	346	359	372	386
3400	116	129	142	155	168	180	194	207	218	232	246	258	271	284	297	310	323	336	349	362	375
3300	104	126	138	151	163	176	188	201	213	227	238	251	263	276	288	300	314	326	339	351	364
3200	101	122	134	146	158	170	180	195	207	219	231	243	255	268	280	292	304	316	328	341	353
3100	98	118	130	141	153	165	177	189	201	212	224	236	247	259	271	283	295	306	318	330	342
3000	95	114	125	137	148	160	170	180	194	205	217	228	239	251	262	274	285	296	308	319	331
2900	91	102	121	132	143	154	165	176	187	198	209	220	231	242	254	265	276	287	298	309	320
2800	88	98	117	128	138	149	160	170	180	192	200	213	223	234	245	255	266	277	287	298	309
2700	85	95	104	123	133	144	154	164	174	185	195	205	216	226	236	246	257	267	277	287	298
2600	82	91	100	109	128	138	148	158	170	178	188	198	208	217	227	237	247	257	267	277	287
2500	79	88	96	104	124	133	143	152	161	170	180	190	200	209	219	228	238	247	257	266	276
2400	76	84	92	101	119	128	137	146	155	164	173	180	192	200	210	219	228	237	246	255	265
2300	73	81	89	97	105	122	131	140	149	157	166	175	184	192	200	210	219	227	236	245	254
2200	69	77	86	92	100	117	125	134	142	151	159	167	176	184	192	200	209	217	226	234	242
2100	66	74	81	88	96	103	120	128	136	144	152	160	168	176	184	190	200	208	216	223	231
2000	63	70	77	84	91	98	114	122	129	137	144	152	160	167	175	180	190	198	205	213	220
1900	60	67	73	80	87	93	109	116	123	130	137	144	152	159	166	173	180	188	195	200	209
1800	57	63	69	76	82	88	95	101	116	123	130	137	144	151	157	164	171	178	185	192	198

扉重量(kg)：900 1000 1100 1200 1300 1400 1500 1600 1700 1800 1900 2000 2100 2200 2300 2400 2500 2600 2700 2800 2900

扉　幅　(mm)　(扉厚　45mm)　　扉　幅　(mm)　(扉厚　62mm)潜り戸付き

扉高(mm)	扉幅(mm) 3000	3100	3200	3300	3400	3500	3600	3700	3800	3900	4000	4100	4200	4300	4400	4500	4600	4700	4800	4900	5000
3500	395	412	426	439	452	466	479	492	505	519											
3400	388	403	418	426	439	452	466	478	491	504	517										
3300	376	389	401	414	426	439	451	464	477	489	503	514									
3200	365	377	389	401	413	426	438	450	462	474	488	498	510								
3100	353	365	377	389	401	413	426	436	448	458	471	480	495	507	519						
3000	342	353	365	376	388	399	410	422	433	445	456	464	479	490	502	513					
2900	331	342	353	364	375	386	397	408	419	430	441	448	463	474	485	496	507	518			
2800	319	330	341	351	362	372	383	394	404	415	426	433	448	458	468	479	489	500	511	522	
2700	308	318	328	339	349	359	369	380	390	400	410	418	433	441	451	462	472	482	493	502	513
2600	296	306	316	326	336	346	356	366	375	385	395	402	418	425	435	445	455	464	474	485	494
2500	285	295	304	314	323	333	342	352	361	371	380	386	395	409	418	428	437	447	456	465	475
2400	264	283	292	300	310	319	328	337	347	356	365	371	380	392	401	410	420	429	438	447	456
2300	262	271	280	288	297	305	315	323	332	340	350	355	367	376	386	395	404	413	420	429	437
2200	251	259	278	276	284	293	300	309	318	326	336	340	352	360	369	378	385	393	401	409	418
2100	239	247	255	263	271	279	287	295	303	311	319	323	336	343	352	359	367	375	383	392	399
2000	228	236	243	251	258	266	274	281	289	296	304	309	319	326	334	342	350	357	365	372	380
1900	217	224	231	238	246	253	260	267	274	282	289	293	303	311	319	325	332	339	347	354	361
1800	205	212	219	226	233	239	246	253	260	267	234	277	287	294	300	308	315	322	328	336	342

扉重量(kg)：3000 3100 3200 3300 3400 3500 3600 3700 3800 3900 4000 4100 4200 4300 4400 4500 4600 4700 4800 4900 5000

扉　幅　(mm)　(扉厚　62mm)潜り戸付き

表２　対象の扉の適用範囲表

3．対象の防火設備の取付手順

対象の防火設備の取付は、別添１の以下の書類に基づいて行う。

ドアコンシステムNK2型　取付説明書（片引き戸現場施工用）随時閉鎖タイプ

4．対象の防火設備の定期的保守

対象の防火設備の定期的保守は、別添２の以下の書類に基づいて行う。

煙（・熱）煙感知器連動遮煙引き戸（随閉）　NK2型ドアコンシステム　取扱説明書

別添１

取　付　説　明　書

DCK−H
現片Z601

（株）豊和仕様

取付説明書（片引き戸現場施工用）

品名	ドアコン遮煙引き戸 制動部 ドアコンシステム NK２型

随時閉鎖タイプ

株式會社 豊和
技術部

DCK−H
現片Z601

（株）豊和仕様

ドアコンシステムNK２型　取付説明書

片引き戸 現場施工用

この説明書は、ドアコンシステムNK２型（随時閉鎖タイプ）の
片引き戸（Ｄｔ：６２）の現場での施工（取付け）を説明するものです。
よくお読みになりご理解されたうえで、正しく施工してください。

この説明書についての注意事項

◎ 説明文中、右引き勝手・左引き勝手と記載していますが、
点検口カバー側から見て下記の通り定めています。
引き戸が右方向へ開く ―― 右引き勝手
左方向へ開く ―― 左引き勝手

◎ 添付図は、右引き勝手用を点検口カバー側から見たものを基準にしています。
左引き勝手用は添付図の勝手違いとなります。

なお、扉吊込み前の作業はつぎのとおりです。

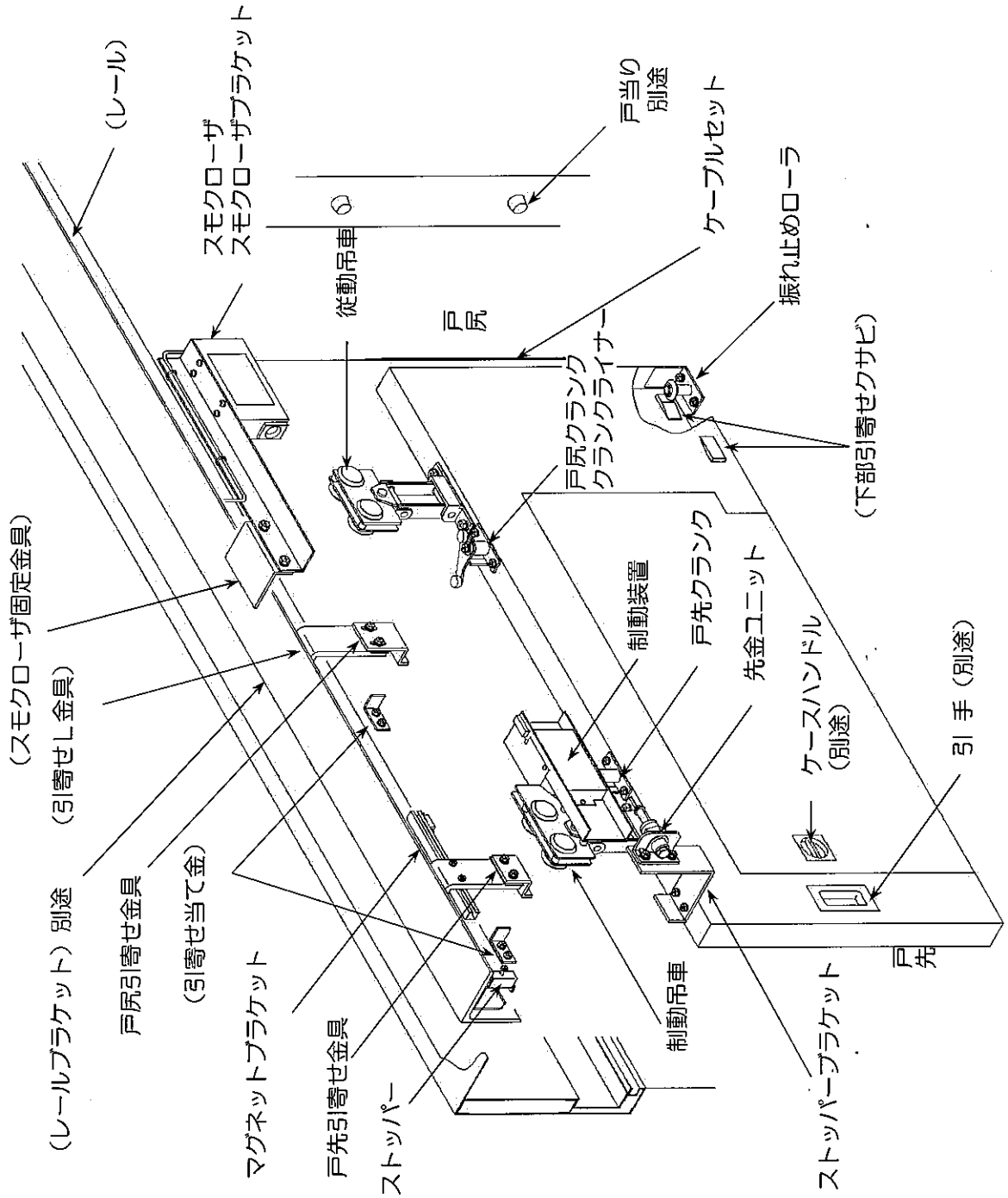
１）３方枠の取付けおよびゴムの取付け
（３方枠気密ゴムおよび戸尻たて枠の戸当りゴム）

２）ゴムポケットおよび戸尻等の吊込み後、仕上げ塗装不可部分の
先行仕上げ塗装実施（別途工事：客先に依頼のこと）

現場施工完成略図

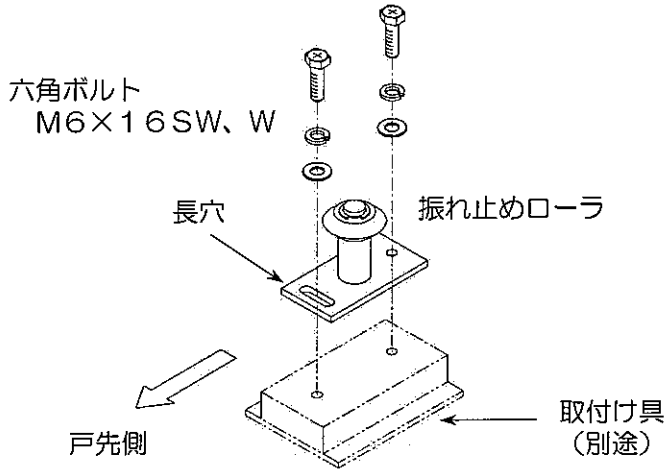
（片引き戸用）

○部品名で（　　）内は工場施工済み品を示す。
○本図は、右引き勝手を示す。
○左引き勝手は、本図の勝手違いとなる。



施　工

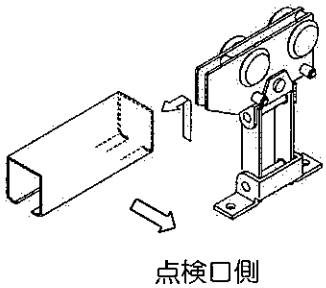
1　振れ止めローラの取付け



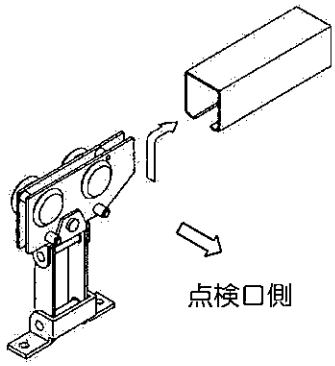
1）振れ止めローラを床面の別途取付け具に固定する。長穴を戸先側にする。

注 ○取付け関係位置は長穴の中心で固定してください。（別途設計図等に合わせてください。）

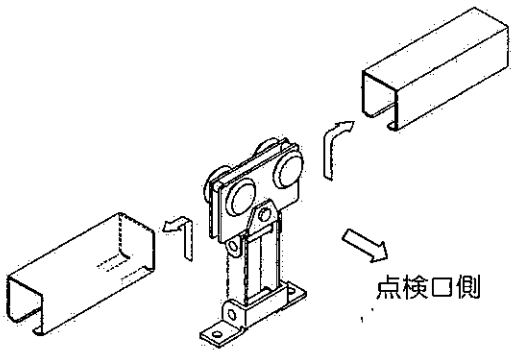
2　吊車の挿入　挿入方向 及び、挿入順厳守



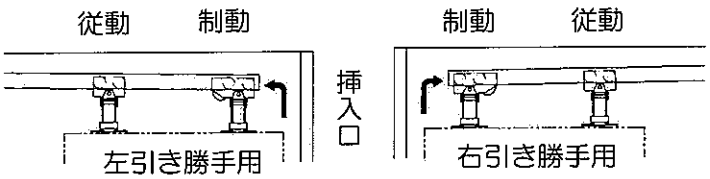
制動吊車
（左引き勝手戸、戸先用）



制動吊車
（右引き勝手戸、戸先用）



従動吊車
（左右引き勝手戸、戸尻用）



1）従動吊車・制動吊車各１ヶを同順にてレールの ➡ より挿入。

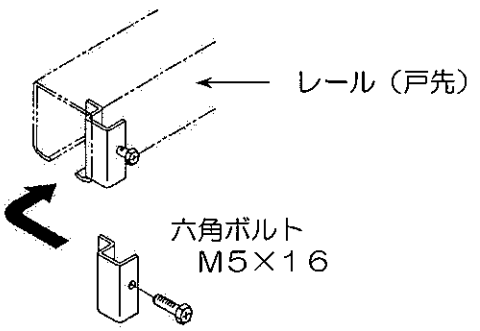
2）ストッパーを挿入口に取付ける。

注 ○手順１）の時、レールに勾配がついているため、各吊車を落下させないようにしてください。

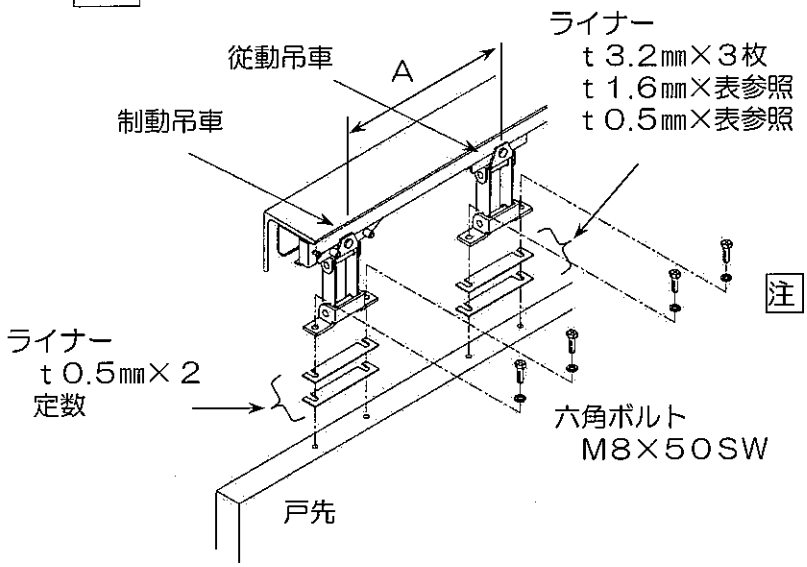
○各吊車に挿入方向、挿入順があります。

○制動吊車には歯車がついていますので、指つめ等、気を付けてください。

ストッパーの取付け



3　制動・従動吊車の取付け および、引き戸の吊り下げ



1）従動吊車にライナーを下表の枚数差込み、吊り下げる。

2）制動吊車に0.5㎜×2枚（定数）差込み、吊り下げる。

注 ○DW 寸法または、A寸法により戸尻吊車のライナー枚数は決まっています。

○制動吊車 毎、0.5×4枚付属しています。

○従動吊車 毎、3.2×3枚＋1.6×11枚＋0.5×2枚付属しています。

《引き戸・戸尻吊車のライナー枚数》3.2×3 枚は必ず使用する為、記載省略しています。　単位：㎜

DW寸法	A 寸法	戸尻吊車ライナー	DW寸法	A 寸法	戸尻吊車ライナー
1200≦DW< 1240	845	1.6×　0枚+0.5×0枚	1715≦DW< 1760	1365	1.6×　3枚+0.5×1枚
1240≦DW< 1290	890	1.6×　0枚+0.5×1枚	1760≦DW< 1820	1410	1.6×　3枚+0.5×2枚
1290≦DW< 1350	940	1.6×　0枚+0.5×2枚	1820≦DW< 1870	1470	1.6×　4枚+0.5×0枚
1350≦DW< 1400	1000	1.6×　1枚+0.5×0枚	1870≦DW< 1920	1520	1.6×　4枚+0.5×1枚
1400≦DW< 1450	1050	1.6×　1枚+0.5×1枚	1920≦DW< 1980	1570	1.6×　4枚+0.5×2枚
1450≦DW< 1510	1100	1.6×　1枚+0.5×2枚	1980≦DW< 2030	1630	1.6×　5枚+0.5×0枚
1510≦DW< 1555	1160	1.6×　2枚+0.5×0枚	2030≦DW< 2075	1680	1.6×　5枚+0.5×1枚
1555≦DW< 1605	1205	1.6×　2枚+0.5×1枚	2075≦DW< 2135	1725	1.6×　5枚+0.5×2枚
1605≦DW< 1665	1255	1.6×　2枚+0.5×2枚	2135≦DW< 2185	1785	1.6×　6枚+0.5×0枚
1665≦DW< 1715	1315	1.6×　3枚+0.5×0枚	2185≦DW< 2235	1835	1.6×　6枚+0.5×1枚
1715≦DW< 1760	1365	1.6×　3枚+0.5×1枚	2235≦DW< 2295	1885	1.6×　6枚+0.5×2枚
1760≦DW< 1820	1410	1.6×　3枚+0.5×2枚	2295≦DW< 2340	1945	1.6×　7枚+0.5×0枚

DW寸法	A 寸法	戸尻吊車ライナー	DW寸法	A 寸法	戸尻吊車ライナー
2340≦DW< 2390	1990	1.6×　7枚+0.5×1枚	2865≦DW< 2920	2515	1.6×10枚+0.5×2枚
2390≦DW< 2450	2040	1.6×　7枚+0.5×2枚	2920≦DW< 2970	2570	1.6×11枚+0.5×0枚
2450≦DW< 2500	2100	1.6×　8枚+0.5×0枚	2970≦DW< 3000	2620	1.6×11枚+0.5×1枚
2500≦DW< 2550	2150	1.6×　8枚+0.5×1枚			
2550≦DW< 2610	2200	1.6×　8枚+0.5×2枚			
2610≦DW< 2655	2260	1.6×　9枚+0.5×0枚			
2655≦DW< 2705	2305	1.6×　9枚+0.5×1枚			
2705≦DW< 2765	2355	1.6×　9枚+0.5×2枚			
2765≦DW< 2815	2415	1.6×10枚+0.5×0枚			
2815≦DW< 2865	2465	1.6×10枚+0.5×1枚			

4　引き戸・建付けの調整

1）制動吊車のライナー増減で調整する。

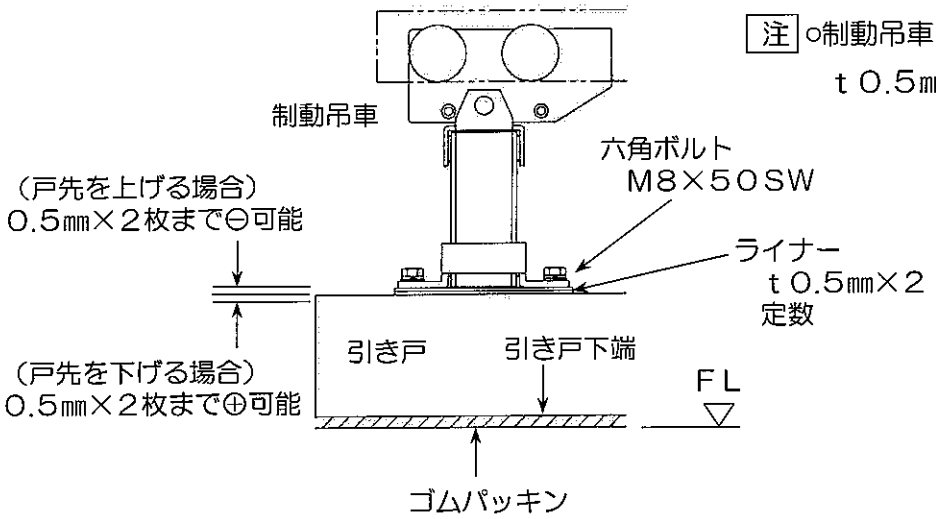
2）引き戸を上げる場合

六角ボルト（M8）ゆるめ、ライナー（0.5㎜）を適度に取除く。（最大1.0㎜ 調整可）

3）引き戸を下げる場合

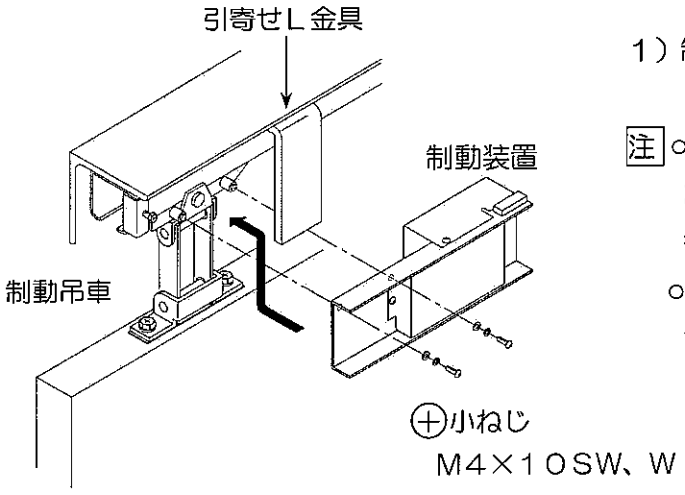
六角ボルト（M8）ゆるめ、ライナー（0.5㎜）を適度に加える。（最大1.0㎜ 調整可）

4）調整後は必ず六角ボルト（M8）を確実に締め付け固定する。



注 ○制動吊車に使用するライナーは
t0.5㎜×4枚付属しています。

5　制動装置の取付け



1）制動装置を制動吊車に引寄せL金具をくぐらせて固定する。

注 ○制動装置 および、制動吊車には、歯車があります。噛み合わせを確認して取付けを行ってください。

○制動吊車には歯車がついていますので、指つめ等、気を付けてください。

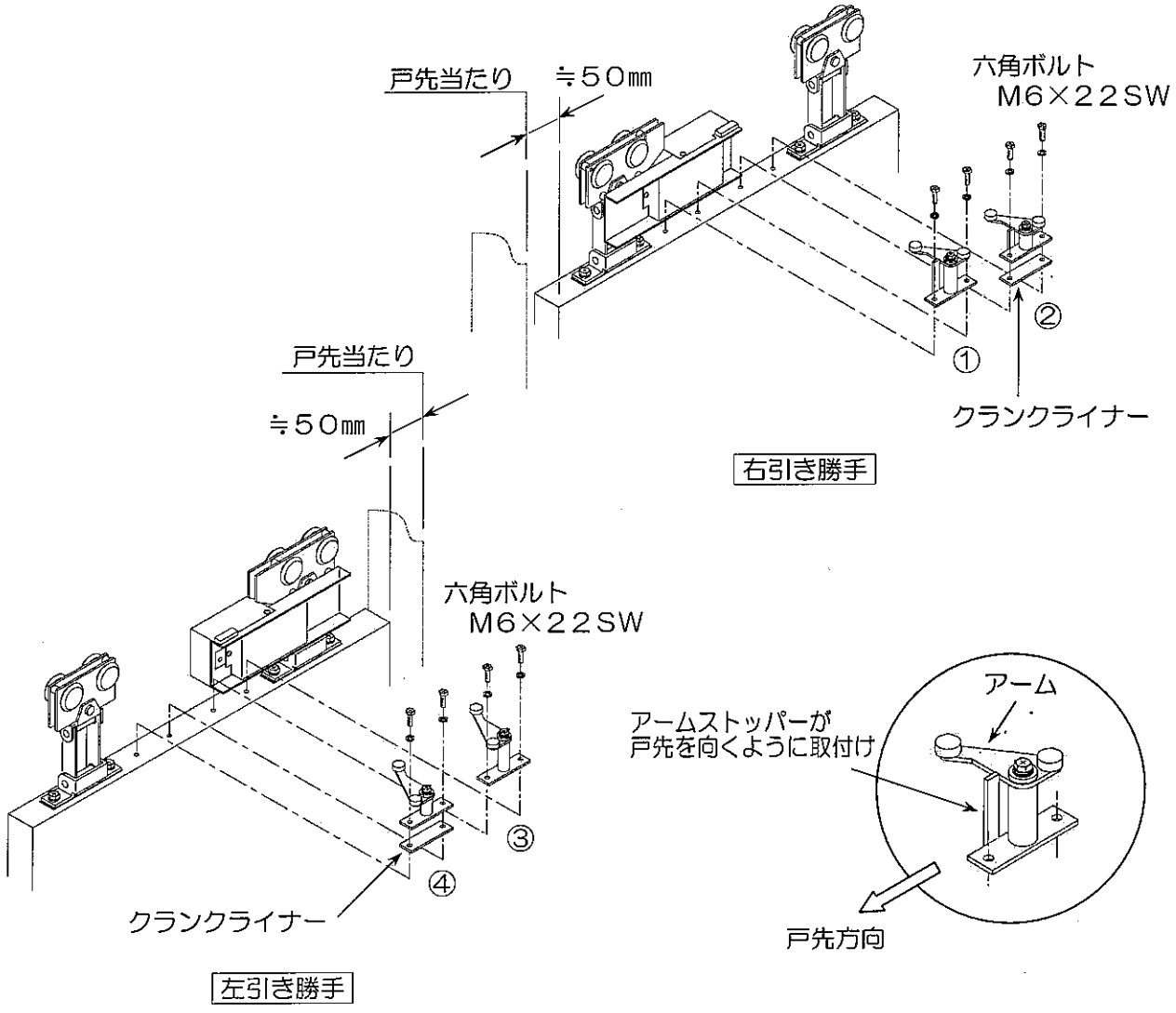
6　戸先・戸尻クランク（Ｒ・Ｌ）の取付け

1）戸先当たりより開方向へ≒５０㎜移動した位置に、引き戸をくさび等で固定する。
2）左引き勝手の引き戸は、戸先に戸先クランク（Ｌ）、戸尻に戸尻クランク（Ｌ）を固定する。
3）右引き勝手の引き戸は、戸先に戸先クランク（Ｒ）、戸尻に戸尻クランク（Ｒ）を固定する。

注　○戸尻クランクのみ固定時にクランクライナーを敷いてください。
　　○引き勝手により戸先・戸尻の２種類付属しています

右引き勝手の時、付属 ＜ ①戸先クランク（Ｒ）・・・戸先用
　　②戸尻クランク（Ｒ）・・・戸尻用

左引き勝手の時、付属 ＜ ③戸先クランク（Ｌ）・・・戸先用
　　④戸尻クランク（Ｌ）・・・戸尻用



7　戸先・戸尻引寄せ金具の取付け

1）戸先・戸尻引寄せ金具と引寄せＬ金具（２ヶ）の間に引寄せライナー（ｔ１.０㎜×２枚）を差込み、固定する。

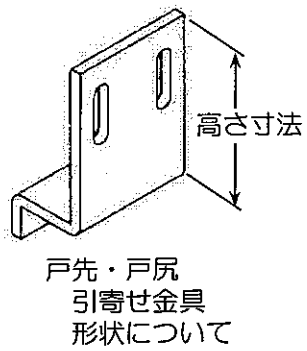
注 ○２種類の引寄せ金具を付属しています。

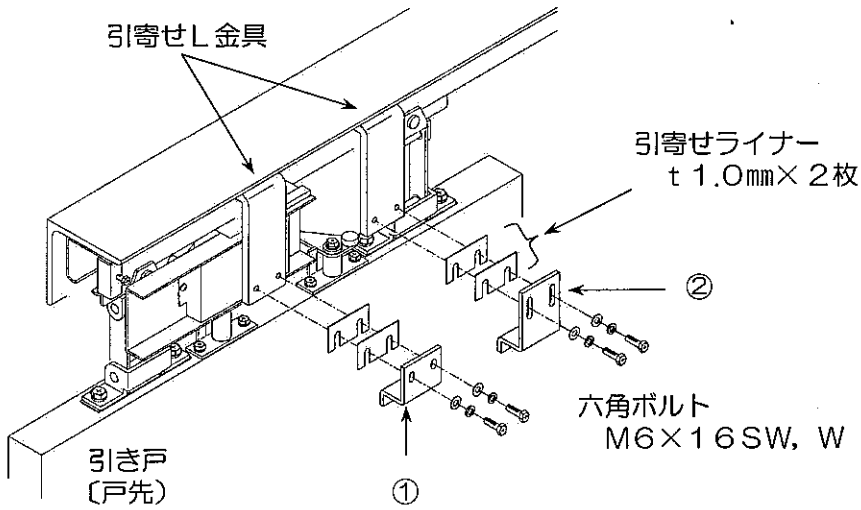
①戸先引寄せ金具・・・引き戸・戸先用（高さ寸法＝短い）

②戸尻引寄せ金具・・・　〃　・戸尻用（高さ寸法＝長い）

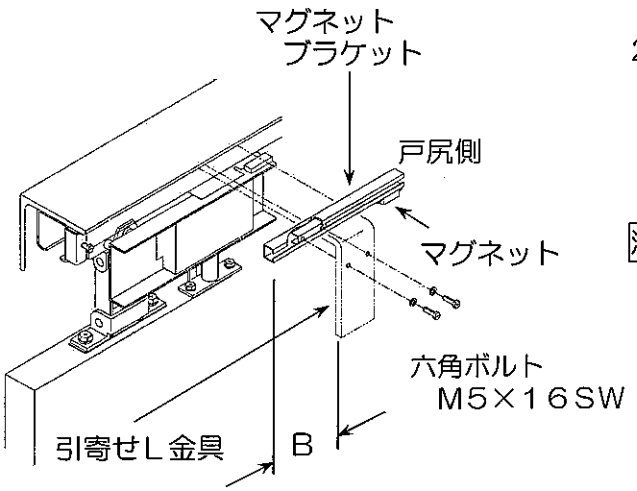
○引寄せライナーは、引寄せ金具毎、４枚付属しています。（合計８枚）

（２×２＝４枚使用し、４枚は調整用の予備）





8　マグネットブラケットの取付け

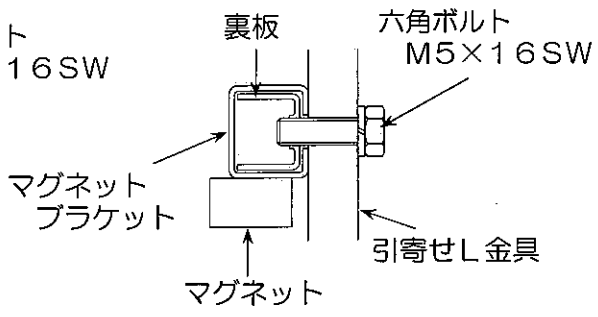


1）マグネットブラケットに組込み済の六角ボルトを取外す。

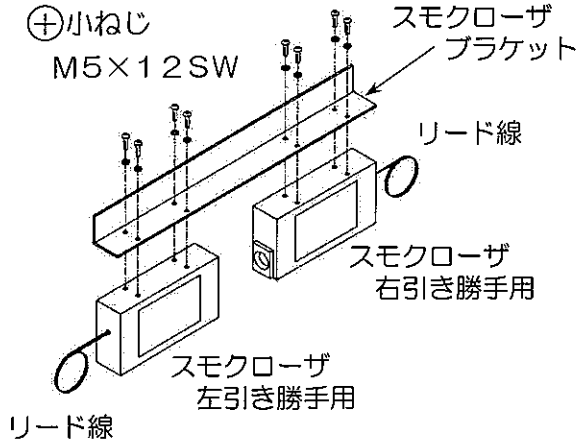
2）マグネットブラケットを引寄せＬ金具と裏板でマグネットが戸尻側になるよう固定する。

（Ｂ寸法≒３０㎜に固定する。）

注 ○レールと平行に取付けしてください。



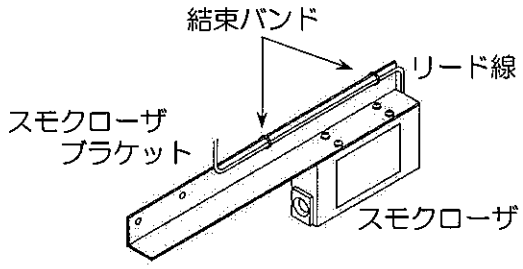
9　スモクローザ前組み



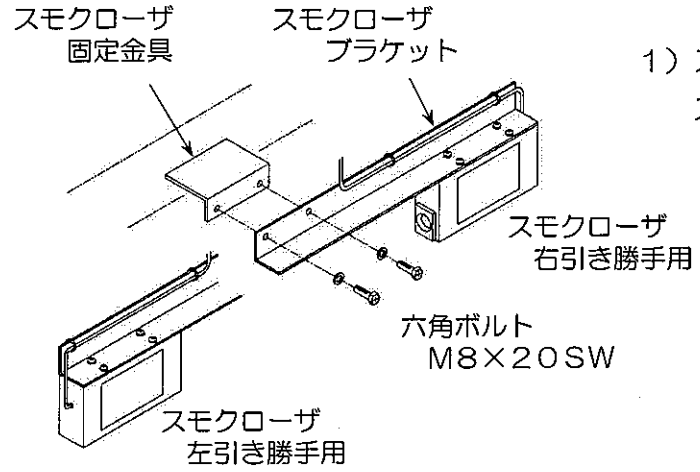
1）スモクローザとスモクローザブラケットを固定する。

2）スモクローザからのリード線を結束バンド（2本）で、スモクローザブラケットに固定する。

注 ○リード線および結束バンドの結び目は、スモクローザブラケット手前側で行ってください。また、結束バンドの余りは切断してください。

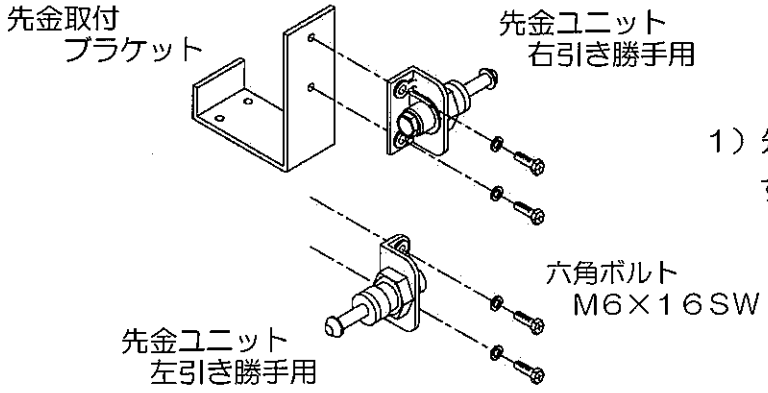


10　スモクローザの取付け



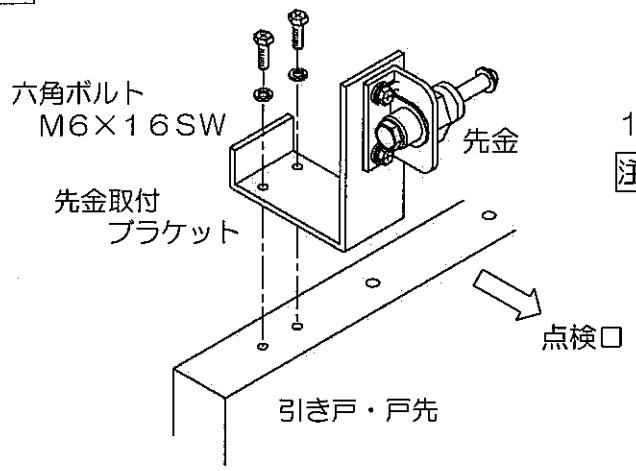
1）スモクローザ固定金具に 9 のスモクローザ前組み品を固定する。

11　先金と先金取付ブラケット前組み



1）先金取付ブラケットと先金ユニットを固定する。

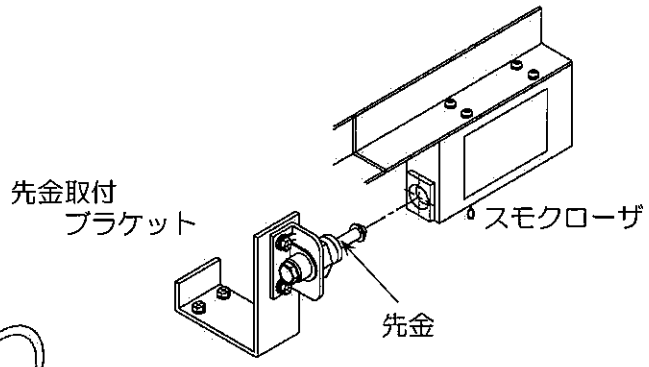
１２　先金取付ブラケットの取付け



1）引き戸の戸先に固定する。

注 ○先金が点検口側になるように取付けてください。

１３　先金とスモクローザの位置確認 及び 調整



〔確 認〕

1）引き戸全開直前位置の時、先金のセンターとスモクローザの先金受け口が合っているか確認する。

〔調 整〕

1）引き戸全開位置の時、戸先端がたて枠から７㎜深くなるように先金受けにて調整する。

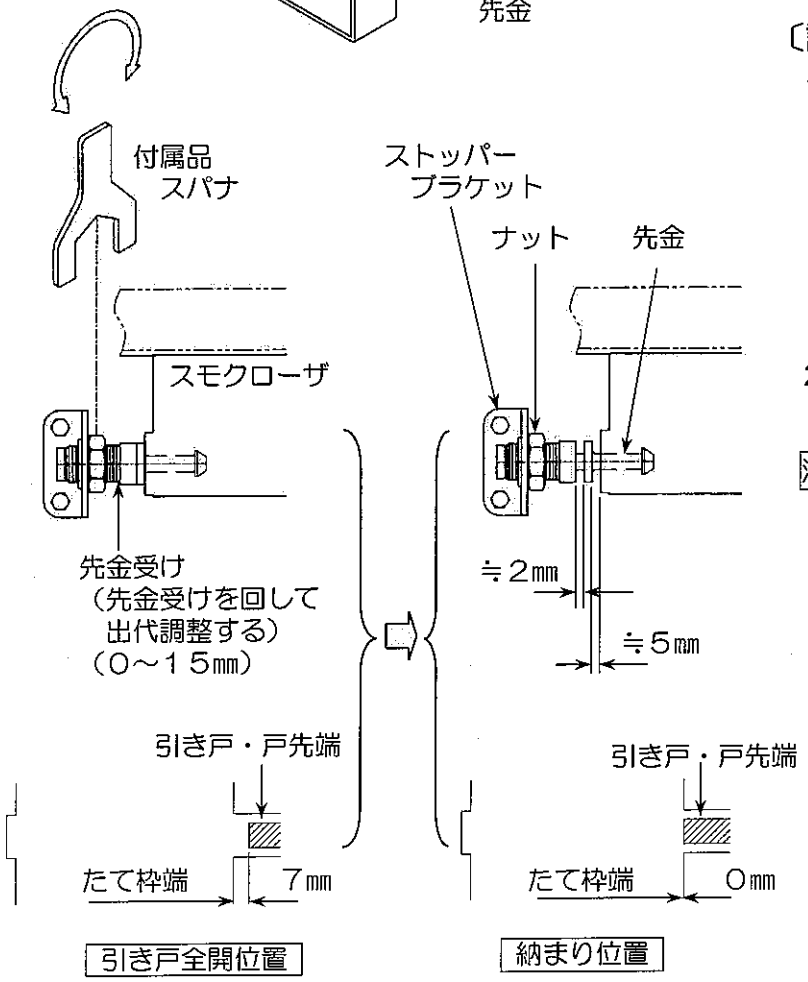
（納まり位置は、７㎜深くすることにより、扉の自重で戸先端とたて枠が面一の状態になります。）

2）調整後、付属品スパナでナットを固定する。

注 ○引き戸全開位置とは、先金をスモクローザに挿入した位置のことです。

○引き戸全開位置より扉の自重で戸先方向に扉が７㎜移動します。

○先金をスモクローザに勢いよく挿入すると、反動で先金が保持されない恐れがあるので、ゆっくり挿入してください。



１４　手動閉鎖装置とワイヤセットの取り付け

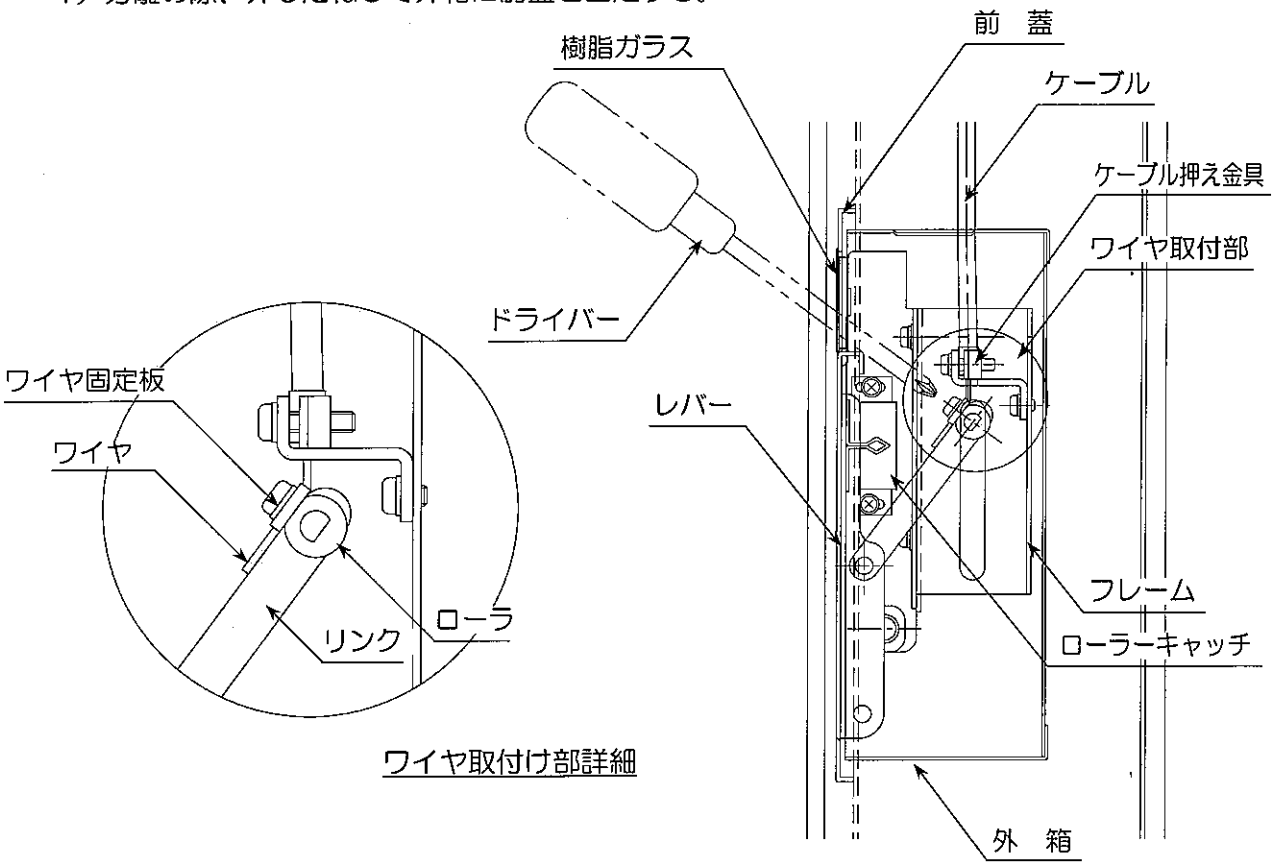
取外し方立への手動閉鎖装置の前組み（取り付け）

１）取外し方立は取付けず、外しておく。

２）手動閉鎖装置の前蓋と外箱を分離し、外箱の上部にケーブル挿入用の穴を開けておく。

３）取外し方立に外箱を取付ねじ（M4×12　２ケ）で固定する。

４）分離の際、外したねじで外箱に前蓋を固定する。



ワイヤ取付け部詳細

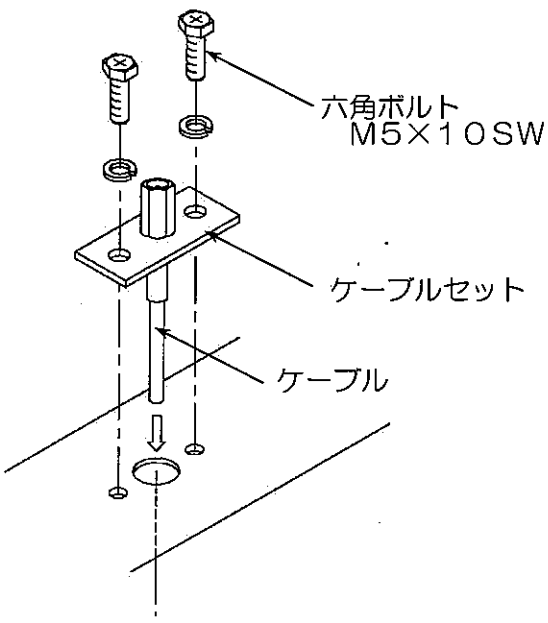
ケーブルの取り付け

５）無目の上からケーブルセットのケーブルを通し
　M５×１０SWで無目の上部に固定する。

６）ケーブルの反対側のキャップを外し、余分なケーブル長さを切断後、再度キャップを付ける。

７）取外し方立部の手動閉鎖装置外箱の穴からケーブルを挿入し、ケーブル押え金具でキャップの上から固定する。

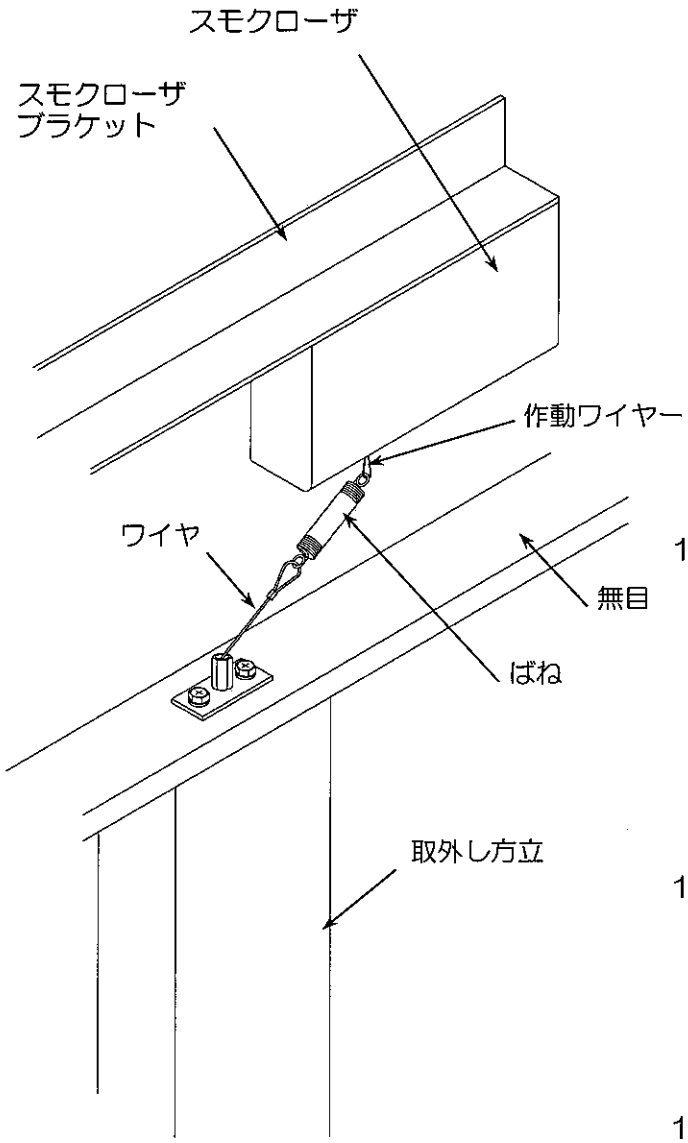
８）取外し方立を取付ける。



注 ○ケーブルは、出来るだけ直線となる様にし
　曲げ箇所が必要な場合はR＝１５０mm 以上で
　３箇所以内として下さい。

ワイヤの取付け

９）スモクローザの作動ワイヤ部に、ばねのフック部を取付ける。



１０）ワイヤ先端を六角長ナットの穴から通し、手動閉鎖装置のワイヤ固定板の間に通した後、ワイヤを持ちながら作動レバーを閉じてワイヤのたるみをとり、レバーを閉じた状態でワイヤー固定板のねじを締め、ワイヤを固定する。
（Ｐ１０図参照）

注 ○ワイヤのたるみをとる際、ばねに負担がかからない（ばねが伸びていない）よう注意願います。

１１）作動レバーを下に全開する途中でスモクローザが作動し、レバー全開でもワイヤのかしめ部が六角長ナットに当たらないことを確認する。
この作動確認は数回行なって下さい。

１２）手動閉鎖装置のワイヤ固定板から３０㎜程度出るようにワイヤを残し、不要部分を切断する。

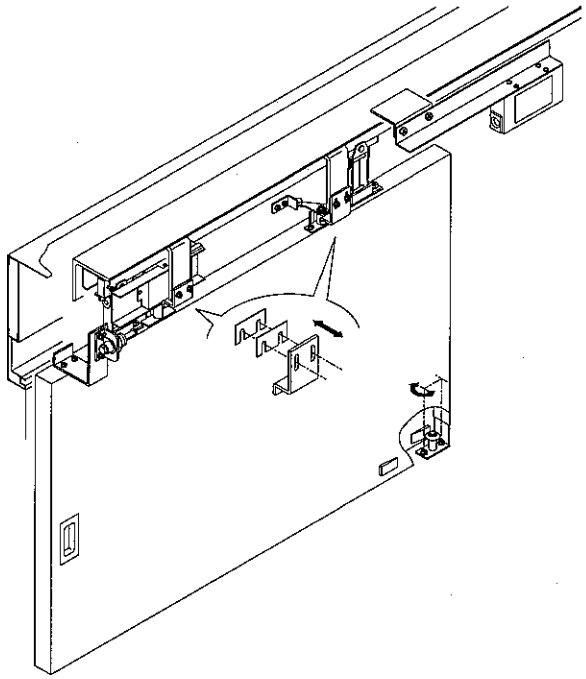
１３）レバーを元に戻し、樹脂ガラスをパチッとはめ込む。

１５　引き戸引寄せの調整

１）引き戸全閉時、引き戸が枠側に5㎜寄せられ、枠とのスキマが2㎜（パッキン除く）になるように調整してください。

２）上部引寄せ機構調整は戸先・戸尻引寄せ金具の六角ボルトをゆるめ引寄せライナー（t1.0㎜）の増減で調整してください。

３）下部引寄せ機構調整は振れ止めローラの六角ボルトをゆるめ ⟷ 方向で調整してください。



４）調整後、六角ボルトは確実に締め付けてください。

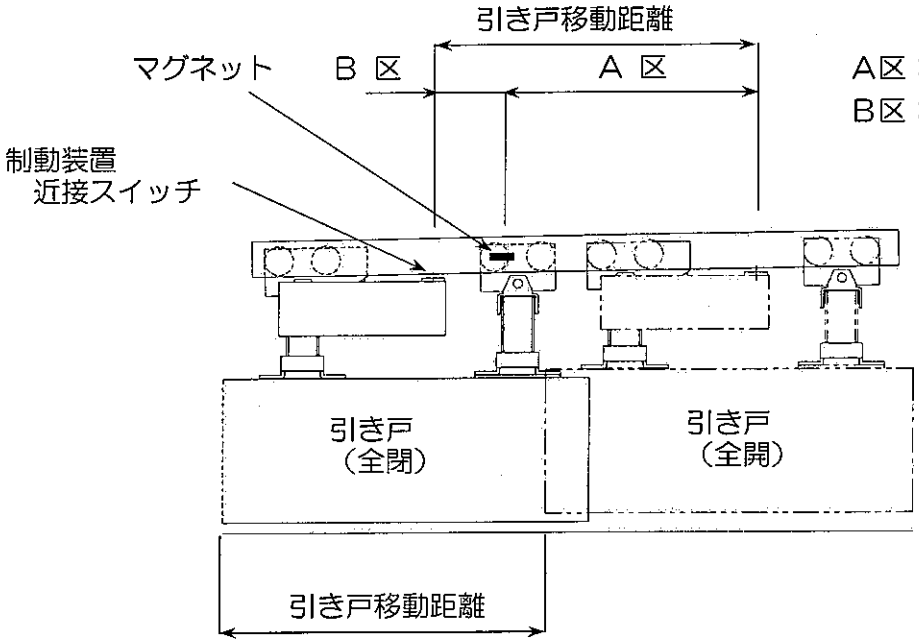
注 ○上部引寄せ機構調整は、１㎜単位で前後２㎜調整可能です。（引寄せ金具１ヶ毎、引寄せライナー１㎜×４枚付属しています。）
又、前後２㎜にて対応できないときは、引寄せ当て金（P２参照）を左右に移動することにより若干の引寄せ量調整が可能です。

◎以上で片引き戸現場施工においての各部品の取付けは完了です。

閉速度の制御説明

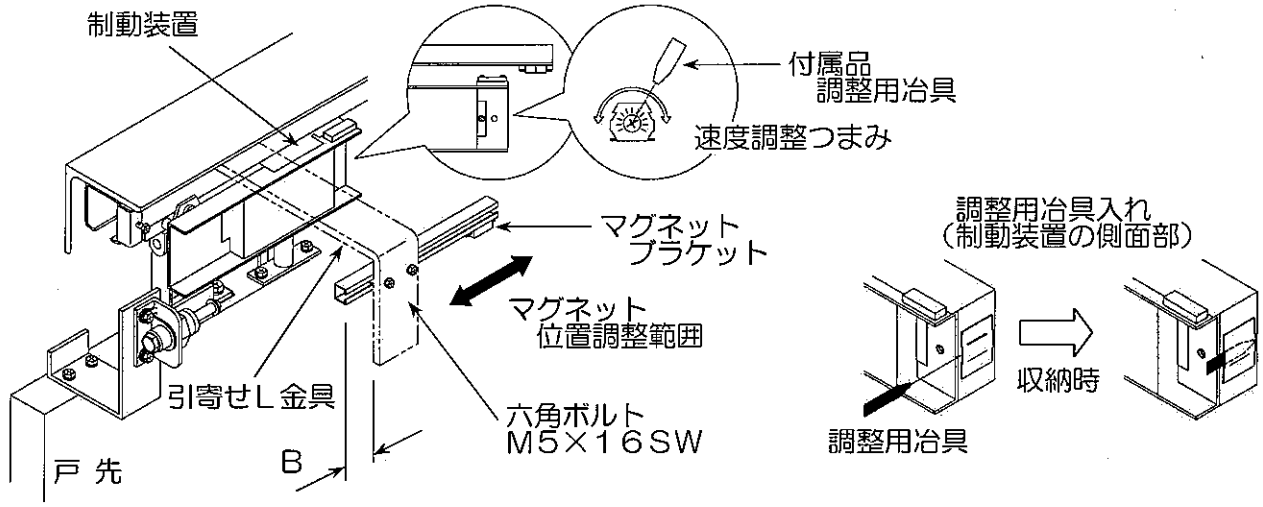
１）引き戸閉走行時の動きは、つぎのとおりとなります。

２）調整等に際して参考としてください。



A区：閉走行調整区域
B区：引寄せ調整区域

閉速度調整方法　A区域 および、B区域の調整



1）全閉（閉鎖）状態になるようA区域およびB区域で調整を行う。

【A区域における閉鎖速度の調整】

①A区域の走行速度は8～11秒／m（12.5～9㎝／秒）程度を目安とします。

②全閉可能な範囲で、最も遅い速度になるよう調整して下さい。

○調整は制動装置についている速度調整つまみを、調整用冶具で回転させる。

左方向回転・・・速くなる

右方向回転・・・遅くなる

○調整用冶具は、制動装置の側面部にあるシールのスキマに収納して下さい。

【B区域における閉鎖力の調整】

①B区域は上図B寸法30㎜を目安とします。（0㎜～90㎜まで調整可能）

○調整は六角ボルトM5×16SW（2本）をゆるめ、マグネットブラケットを左右に移動させる。
調整後、六角ボルトは確実に締め付ける。

戸先方向移動・・・閉鎖力が弱くなる（引き戸がはね返るときに移動する方向）

戸尻方向移動・・・閉鎖力が強くなる（引き戸が全閉しないときに移動する方向）

②B区域における閉鎖力の調整例

○B寸法0㎜の時

引き戸が全閉しない･･･施工 15 に戻り、上部引寄せ機構の引寄せライナー1枚を増やし、再度B区域調整を行う。最大2枚増やしても全閉しない時は、引寄せ当て金（P2参照）を戸先方向に移動させる。

引き戸がはね返る　･･･マグネットブラケットを戸先方向へ移動させ、再度B区域調整を行う。又は振れ止めローラーの寄せ位置を調整する。

○B寸法90㎜の時

引き戸が全閉しない･･･マグネットブラケットを戸尻方向へ移動させ、再度B区域調整を行う。

引き戸がはね返る　･･･施工 15 に戻り、上部引寄せ機構の引寄せライナー1枚を減らし、再度B区域調整を行う。最大2枚減らしてもはね返る時は、引寄せ当て金（P2参照）を戸尻方向に移動させる。
又は振れ止めローラーの寄せ位置を調整する。

2）A区域およびB区域の調整後、閉鎖速度の計測を下記手順により行う。

①ドアコンの開口部床にスケールを置く。

②全開状態から1mまで（又は途中の1m）の閉鎖速度をストップウォッチ（ストップウォッチ機能付腕時計または秒針付の腕時計でも可）で計測し記録を取る。
（開口巾で1m取れない場合は50㎝で行い、設定閉鎖速度は○秒／mに換算する事。）

③手順②を3回計測し平均を出す。

④自主検査報告書の閉鎖速度欄にチェックを入れる。

確 認

1）引き戸の開放が手動でスムーズにできるか。
2）引き戸全開時、先金がスモクローザに確実にセットされるか。
3）スモクローザのセット解除すると先金ロックが外れ、引き戸が確実に全閉されるか。
（手動閉鎖装置または、可能であればＤＣ２４Ｖ信号での作動でご確認ください。）
4）引き戸全閉時、引寄せられているか。（三法枠戸当りと扉のチリは２㎜が標準）

◎引き戸復帰方法（引き戸強制閉ののち、全開に復帰させる。）

1）引き戸強制閉の動きから８秒以上の経過を確認し、スモクローザへの信号電源を「切」にしたのち引き戸を手動でゆっくり全開にする

以 上

〈 参 考 〉

片引き戸現場施工に際して、必要な工具類はつぎのとおりです。

□□ 必要工具類一覧 □□

工具名・規格	
片引き戸現場施工	
⊕ドライバー	２番
スパナ（M5）	Ｓ８
スパナ（M6）	Ｓ１０
スパナ（M8）	Ｓ１３
スパナ（M22）	梱包部品
調整用冶具	梱包部品

注 ○穴明け，ねじ切り，溶接および電気配線等に用いる工具類は除きます。

別添２

取　扱　説　明　書

煙（・熱）感知器連動遮煙引き戸（随閉）

ＮＫ２型ドアコンシステム

― 取扱説明書 ―

●安全上のご注意 …… 1～3

●管理上のご注意 …… 4

●ＮＫ２型ドアコンシステムの概要 …… 4

●各部のなまえ及びその役割 …… 5

●「？」と感じられたとき …… 6

●連絡先 …… 6

●ＮＫ２型ドアコンシステム
ご利用ありがとうございます。

●ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。

株式會社 豊 和

安全上のご注意

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、正しくご使用してください。

●ここに示した注意事項は、「⚠ 警告 」,「⚠ 注意 」に区分していますが、誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を「⚠ 警告 」、物的損害の発生が想定される内容を「⚠ 注意 」として記載しています。
なお、「⚠ 注意 」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警　告

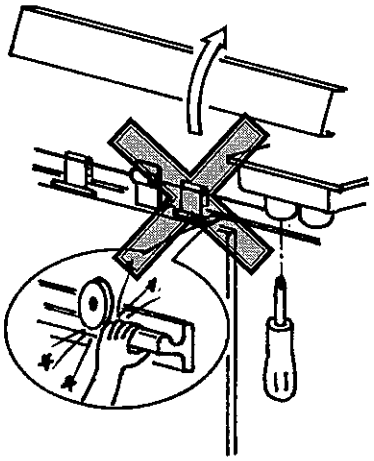
1．分解・改造をしない

○点検カバーを開ける，取外しは、行わないでください。

〔車輪とレールに指がはさまれる恐れがあります。〕

○分解・改造・調整は行わないでください。

〔ドア脱輪・落下など大変危険です。
また、駆動部品の中は強力な巻バネがセットされており、大変危険です。
故障の原因にもなりますので、分解・改造・調整は行わないでください。〕

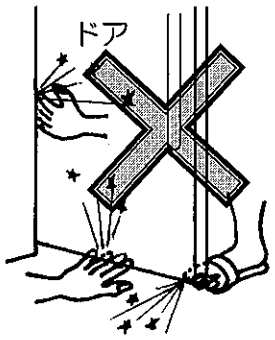


2．ドアと床面のすきまに注意

○ドアの下に手や足を入れないでください。

〔ドア開又は閉のとき、指づめなど大変危険です。〕

○戸袋とのすきま，ドア開のとき、指づめにご注意ください。

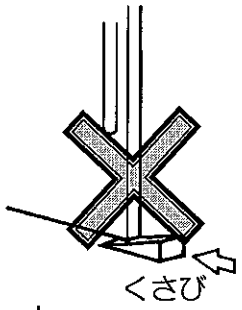


⚠ 警　告

3．ドアの下にくさびを差込まない

○ドア下に止メ用くさびの差込み又はドア止メ具の使用は絶対にしないでください。

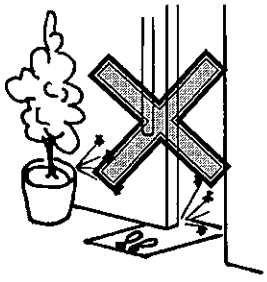
（ドアが浮上がり外れ、落下する恐れがあります。
また、非常時強制閉が機能しなくなります。）

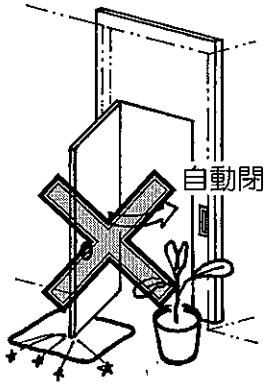


4．ドア開・閉部及び通路部確保

○ドアの開閉部分や通路部分に物置をしないでください。
また十分な場所の確保をしてください。

（非常時ドアの強制閉が機能しなくなったり、非難通路が阻害され大変危険です。
またくぐり戸の場合、自動閉が機能しなくなる場合があります。）

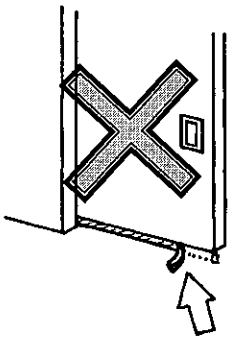




5．ドア移動部近くの床面清掃

○ドア開閉部の床面は絶えず滑らかできれいに保ってください。

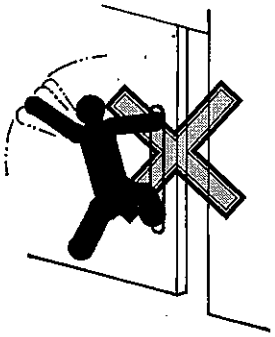
（ドア下端部には遮煙のためのゴムパッキンが取付けられています。砂や異物，床面段差等があるとパッキンの破れやめくれの原因となります。
非常時遮煙機能が低下したり、ドアの強制閉ができなくなったりする恐れがあります。）



6．ドアにぶらさがって遊ばない

○ドアにぶらさがったり、開閉をして遊ばないでください。

（ドアの動きが急に変化して思わぬ事故の恐れが生じます。
また、故障の原因にもなります。）

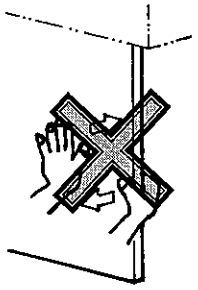


⚠ 注　意

1．ドア正面を押さない

○ドア正面を強い力で押し・引きしないでください。

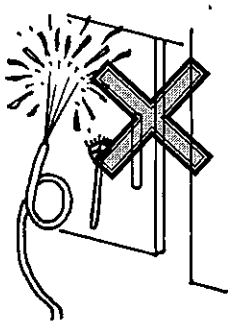
〔変形や音なりなど、開・閉に悪影響を与えます。〕



2．水をかけない

○ドア汚れの水かけ洗浄は行わないでください。

〔装置には電気回路や精密回転部分があります。これらに水がかかると非常時強制閉の機能が働かなくなる故障が発生します。〕



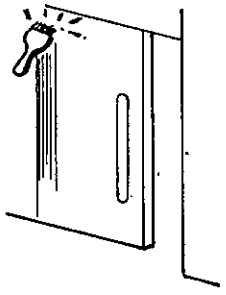
3．床ワックス剤などを振れ止メローラにかけないようご注意ください。

〔異音発生，ドア動きの不良などの恐れが生じます。〕

4．メンテナンスのとき

○壁やドアを塗装したり、別工事をされる場合

〔回転部，レールなどにペイント付着，コンクリート粉，鉄粉などを落とさないように、また溶接火花をかけないように十分保護してください。
車輪やレールなどにキズや付着物が残りますと、ドアの動きが悪くなります。〕



管理上のご注意

●ＮＫ２型ドアコンシステムは「煙（又は熱）感知器連動遮煙引き戸」のシステムです。
非常時（火災時）、煙又は熱を感知し自動火災報知設備の受信機に信号が伝えられ、受信機からさらに当ドアコンシステムに伝えられます。ドアコンシステムは伝えられた信号によって、ドアを強制的に閉鎖させ煙の拡散を防ぎ、また延焼を防止させるものです。

○自動火災報知設備は常に正しい状態ですか。
日常点検の励行でご確認ください。

○ドアコンシステムは正常に作動（ドアが完全に閉まる）していますか。
日常点検（信号で作動しますか）の励行でご確認ください。

○くぐり戸付タイプはくぐり戸が自動的に閉じるかを併せてご確認ください。

○ドア周辺に障害物はありませんか。（ドア開時の止メ具等の使用は禁止）
ドア開閉部床面はいつもきれいですか。
日常点検励行でご確認ください。

○その他消防法等に基づき対応，管理をお願いいたします。

○専門業者による定期メンテナンスをお勧めいたします。

NK2型ドアコンシステムの概要

○ＮＫ２型ドアコンシステムは「煙（又は熱）感知器連動遮煙引き戸」のシステムです。

１．片引き（又は引分け）ドアで、手動で自由に閉操作ができます。
（随時閉鎖として使用してください）

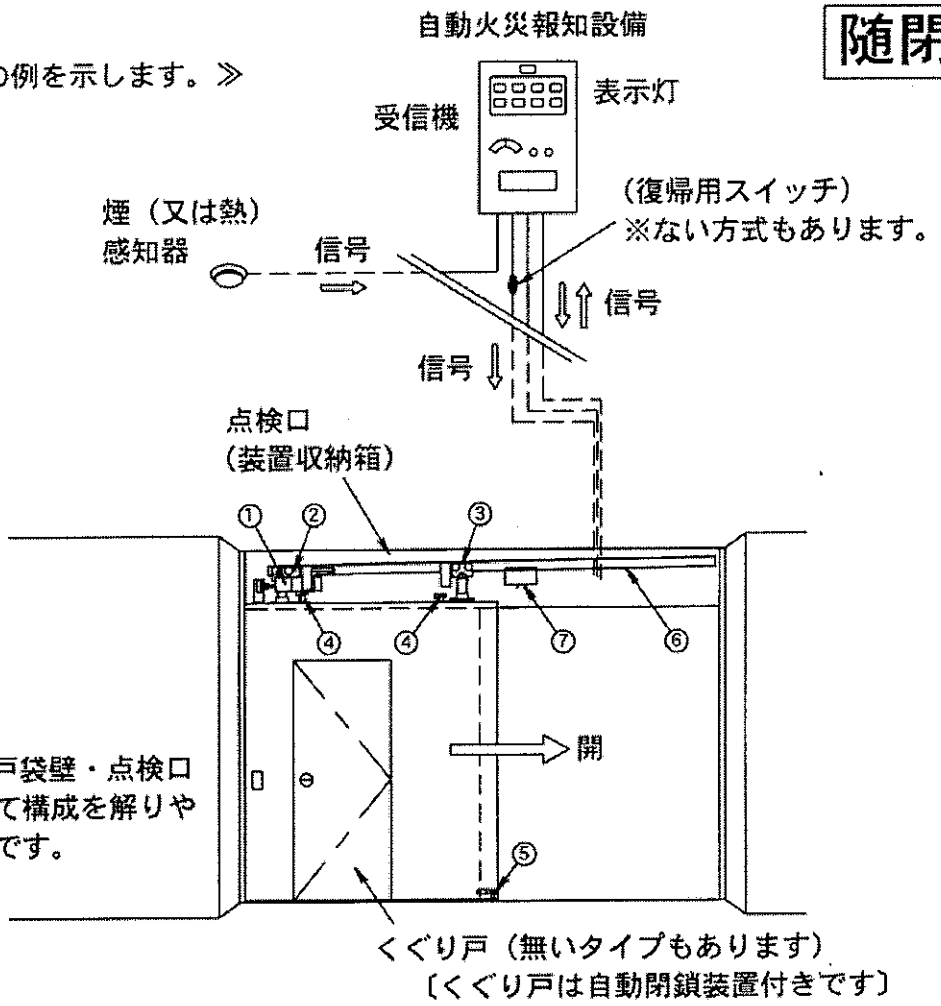
２．非常時（火災発生時）は、煙又は熱を自動火災報知設備が感知し、ドアコンシステムに信号を伝えます。
※当システムは、信号を受けるとスモクローザに伝えられ、スモクローザは約３秒後に閉鎖力保持解除し、制動装置に制動されながら傾斜レールによる重力で引き戸を自動的に閉鎖させます。（手動による戸閉鎖も可能です）

３．片引き戸，引分け戸のそれぞれの引き戸は、全閉時引き戸引寄せ装置により周囲の枠体に引寄せられ、遮煙性を高める構造です。

４．非常時強制閉の後、引き戸の復帰は連動制御器側で一旦復帰用スイッチ等の操作をした後引き戸を手動で全開位置に戻すと復帰します。

各部のなまえ及びその役割

≪この図は片引き戸
（くぐり戸付）の例を示します。≫



番号	なまえ	主な役割
①	制動装置	ドアの閉まるスピードを調整する装置。 （速度の調整機構も備えている）
②	鉄製制動吊車	ドアに取付けられた⑥の中を走行する。 ドアを吊り下げている。
③	鉄製従動吊車	ドアに取付けられた⑥の中を走行する。 ドアを吊り下げている。
④	戸先・戸尻クランク	ドアの前後振れを防止する。
⑤	振れ止メローラ	ドアの前後振れを防止する。
⑥	レール	②、③（ドア）の走行路。
⑦	スモクローザ	非常時は受信機からの信号で、⑥の傾斜により閉まるドアのロックを解除する装置。
※④及び⑤は、遮煙性を高めるための引寄せ機構も備えている。		

「？」と感じられたとき（故障かな？）

①非常時（点検時等）ドアが完全に閉まらない。

ａ）ドアが全く閉方向に動かない。

ｂ）ドアが完全に閉まらず途中で止まる。

②装置復帰（非常時閉作動後元に戻す）操作をしても復帰しない。
（ドアが閉方向に戻ってしまう。）

③ドア下端部のシールゴムパッキンの破れ，めくれがあるとき。

④その他

また、

①強制閉時の速度を変えたい。（横引きドア，くぐり戸とも）

②点検，調整，掃除などをしたい。

など、

異常と感じられたとき、また、点検，調整，清掃を行いたいときは、必ずご連絡ください。
お客様で分解，点検，内部清掃は行わないでください。

―― 連 絡 先 ――

株式會社 豊 和 ドアシステム事業部

0120-198-551